



西欧近代性と自生的近代性の東洋的共同起源

Eastern Common Origins of Western and Autogenous Modernity

研究背景および問題提起

- 東アジア3国の経済成長と近代性の再評価

非西欧文明の中で唯一西欧を凌駕する経済成長を遂げた東アジア3国の再評価の必要性が浮上

- 西欧近代性の東洋的起源の研究動向

西欧近代がむしろ東洋の影響を受けたという研究が続出—ジュリアン、フランク、ホブソン、クリール、ウッドサイドなど西欧の学者たちの新たな視角

- 韓国の自生的近代性の再照明の必要性

旧時代の独自の遺産程度としてのみみなされていた近現代韓国の自生的近代性に対する新たな視角と再評価

ヴェーバーの東洋社会論と限界

- 東洋社会を非合理的、前近代的社会と規定
漢字を知らなかったウェーバーは、東洋社会が合理性(rationality)と一貫性を欠くと主張し、家臣官僚体制と指摘
- ヘーゲルの絶対理性(Absolute Geist)と西欧中心的観点を受容
ヘーゲルの弁証法的歴史観を受容し、西欧近代社会を発展の頂点に置き、東洋社会を劣等な発展段階として規定
- カントの影響と合理性一貫性の不在の主張
カント式の一貫性の概念を基準として性理学の理(理)を評価し、論証なき非合理的の体系と誤解
- 今日まで持続する影響力と問題点
100数年が経過した今日でも、西欧と東洋の知識人が東洋社会を見る基本的視角として作用し、自生的近代性論議の最初の障害物

メッツガーの反駁論と東洋的近代性

- 漢字を理解したウェーバー理論の再解釈

トーマス・メッツガー漢字を知り、東洋文化を深く理解し、ウェーバーとは正反対の結論を導出－東洋社会を合理性が不在の社会というウェーバーの主張を反駁

- 東洋の憂患意識と緊張感

ウェーバーがプロテスタント的要素として見た緊張感が、むしろ東洋人において強く現れる－憂患意識を通じた世界に対する東洋人の省察と絶えざる自己修養

- 官僚主義の拡大と歴史発展の解釈

東洋的観点から民主主義は官僚主義の拡大であり、内聖外王(内聖外王)の過程－現代東アジアの独歩的経済発展がこのような東洋的近代性の証拠

- 東洋的近代性の再評価

東学思想の性理学に対する宗教改革的性格と朝鮮社会の市民社会的特性－西欧市民社会よりも強い市民社会的要素を備えた朝鮮社会の特徴

西欧近代性の東洋的起源の証拠

- 啓蒙時代のヨーロッパ知識人たちの中国思想受容
ヴォルテール、ルソー、アダム・スミスなど近代思想の起源をなした学者たちが異口同音に中国思想において自らの主張の根拠を発見－ヨーロッパの「中国熱風」
- マテオ・リッチの中国思想伝播の役割
マテオ・リッチがヨーロッパに伝えた中国思想が西欧近代性の核心概念形成に決定的影響－東学と大巡思想でも言及されるマテオ・リッチの役割
- 歴史的証拠：西欧近代概念の東洋的起源
スミスの「見えざる手」、ルソーの「天賦人權説」が東洋思想から着想－中国の科学制と世俗化された合理的伝統が西欧に及ぼした影響
- 西欧の普遍性概念の形成と東洋思想
西洋のカトリック的「普遍性」概念が東洋文明との接触を通じて再定立－宗教なしにも道徳的な中国社会が、当時宗教戦争に苦しんでいたヨーロッパに与えた衝撃

東学思想と韓国の自生的近代性

- 東学の「再開闢」思想と西欧近代性の東洋的起源
東学に間接的表現として現れた西欧近代性の東洋的起源と、これを通じた東西洋文明の再解釈
- 西学中源論と韓国の徐命膺
西洋学問の起源が中国から始まったという西学中源論の影響と、韓国の徐命膺を通じた発展
- 東学思想の宗教改革的性格
性理学に対する宗教改革の性格を持つ東学－西欧プロテスタンティズムとの類似性と差別点
- 韓国性理学と市民社会的性格
韓国の朝鮮社会が西欧市民社会よりも市民社会的性格が強かったという最近の研究とその意味

共感と省察的近代性

- 共感の東洋的近代性のキーワード
東洋儒教思想の「共感」概念が西欧近代性の核心要素へ転換－西洋道德理論の新たな土台
- 18世紀西欧の儒教「共感」概念の受容
ヒューム、アダム・スミスなどがマテオ・リッチが伝授した孔子の儒教思想を「共感」と解釈し、西欧道德理論に接合
- 省察と結合した近代性の重要性
東洋の近代性には、西洋の近代性より省察を強調する「省察論的近代性」の特性－西洋近代性の起源である共感も、省察と結合される時に真の意義が発生
- 代替的近代性としての価値
西洋近代性の物質主義と人間疎外を克服できる東洋の自生的近代性－ポストモダニズム時代の代案的パラダイムの提示

結論および意義

- ✓ 近代性論争における東洋的起源の重要性

西欧近代性が東洋から影響を受けたという歴史的証拠の発見－マテオ・リッチの影響、啓蒙主義時代の「中国熱風」、儒教思想の共感概念の導入

- ✓ 韓国自生的近代性の再解釈と今日的示唆点

東学思想と韓国性理学の独特な特性が近代性の萌芽として再評価－ウェーバーの限界を超えた自生的近代性の再発見

- ✓ 未来の代替的近代性としての「省察的・共感的」近代性

西欧近代性の物質主義と人間疎外を克服できる東洋の自生的近代性－共感と省察が結合された新たな近代性パラダイムの提示

「文明の危機を解決する新たなパラダイムとして、東西洋文化の統合的近代性を再考察すべき時点」